

POWER FILE ★ 1143

命の大切さ、考えるひとときを。



骨髄バンクスペシャル 命の贈り物 in コトチカ広場

遠藤アナとワタナベフラワーが、タッグを組んでお届け。

もっと知ってほしい、骨髄バンクのこと。京都市骨髄バンク推進キャンペーンイベントが、10月18日(日)に京都駅コトチカ広場で行われました。会場では骨髄バンク登録ブースが特設されたほか、11時から16時に渡ってさまざまなステージイベントを展開。KBS京都の遠藤奈美アナと、「ワタナベフラワーわちゃラジオ」(日/21時30分~22時)でおなじみのわくわくロックンロールバンド、ワタナベフラワーがタッグを組み、ステージ進行役を務めました。



京都出身のソプラノ歌手、永野歌織さんによる音楽ステージに始まり、骨髄バンク推進PRステージやクイズ大会などさまざまなイベントを実施。12時から13時には、

KBS京都ラジオ特別番組「骨髄バンクスペシャル 命の贈り物 in コトチカ広場」を公開生放送しました。さらにその後、ワタナベフラワーのミニライブも開催。会場を大いに賑わせました。

ゲストトークを通じて学ぶ、骨髄バンクのエトセトラ。

永野歌織さんの音楽ステージに続いて、スタートした公開生放送。骨髄バンクのイベントは2度目という遠藤アナに対して、まったく初体験というワタナベフラワーは、会場に集まった方々やリスナーと一緒に学ぶつもりで、公開生放送に挑みました。



まずは京都市保健福祉局、保健医療課長の志摩さんをステージに迎えて、京都市の取り組みを伺いました。京都府赤十字血液センターと連携して取り組むドナー登録会について紹介。毎年2000人以上が骨髄移植や末梢血管細胞移植を必要とする中で、まだまだ不十分な登録状況が語られました。

続いて遠藤アナは、会場内の骨髄バンク登録ブースへ。日本骨髄バンク地区普及広報委員の中津さんに、登録の流れなどお話いただきました。また中津さんご自身が骨髄移植体験者のご家族とあって、その体験談にも耳を澄



ました。

ました。

では、実際にドナー登録後、骨髄提供までどのようなプロセスを踏むのか。日本骨髄バンクコーディネーターの今中さんを迎えてお聞きしました。今中さんは、提供までの流れを紹介。聴き手に、ドナーとなった場合をシミュレートさせる内容となりました。



そしてここで、ちょっとブレイクタイム。ワタナベフラワーのベース、ムサ扮するムサ川クリステルさんが、「お・も・て・な・し」風に悩みを解決する「ワタナベフラワーわちゃラジオ」のコーナーを再現しました。遠藤アナが明かした日常の悩みを、無理矢理5文字で片付けようとするムサ川クリステル。会場には笑い声が響き、和やかな雰囲気の中で公開生放送はエンディングを迎えました。

会場を熱くさせるライブも。骨髄バンクへ協力を呼びかけて。

会場を熱くさせるライブも。骨髄バンクへ協力を呼びかけて。

オンエア終了後は、ワタナベフラワーのアースティックライブでお楽しみいただきました。みんなで楽しめる音楽が信条のワタナベフラワー。わくわくするような楽曲を披露し、どんどん増えていくギャラリーたち。カメラ片手に見入って



いた外国人ギャラリーとも歌を通じて交流し、一緒に踊ってハイタッチ！会場は沸きに沸きました。

その後も、骨髄バンク情報を発信するPRステージや、献血PRキャラ「けんけつちゃん」と京都市営地下鉄のマスコット「都くん」も参加するクイズ大会など、ステージイベントを実施。最後は、会場からのリクエストに応じて、再びワタナベフラワーがミニライブを開催。ギャラリーと一緒に大合唱する盛り上がりぶりを見せ、イベントは熱気の中で幕を閉じました。



楽しさも織り交ぜながら、骨髄バンクへの理解を深め、協力を呼びかけたイベント。ラジオも、たくさんの人たちと一緒に、命のためにできることを考えた一日となりました。 **KBS京都Radio**